2023年7月28日

全国商工会連合会

小規模企業景気動向調査　［２０２３年６月期調査］

～経済活動の正常化で改善が進むも、借入金返済や供給力に問題を抱える小規模企業景況～

**＜産業全体＞**

**6月期の産業全体の業況は、売上DIがわずかに悪化、採算・業況DIはわずかに改善し、資金繰りDIが小幅に悪化した。経済活動の正常化を背景に、5期連続で売上DIがプラスで推移し、価格転嫁に向けた取り組みが進み、採算性も改善してきている。一方、コロナ融資の返済開始が、資金繰りの悪化に影響を及ぼしている。また、人手不足から、需要拡大に対し、供給が追い付いていない状況にある。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **D I** | **５月** | **６月** | **前月比** |
| **売上額** | 10.9 | 10.8 | ▲0.1 |
| **採算** | ▲ 31.6 | ▲29.9 | 1.7 |
| **資金繰り** | ▲ 21.2 | ▲ 23.2 | ▲2.0 |
| **業況** | ▲ 14.4 | ▲ 13.2 | 1.2 |

**＜製造業＞　コスト高が続くも、受注の増加から、設備投資の動きが見られ始めた製造業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **D I** | **５月** | **６月** | **前月比** |
| **売上額** | 12.1 | 11.2 | ▲ 0.9 |
| **採算** | ▲ 34.1 | ▲ 32.6 | 1.5 |
| **資金繰り** | ▲ 23.7 | ▲ 25.0 | ▲1.3 |
| **業況** | ▲ 14.9 | ▲ 15.5 | ▲0.6 |

製造業は、採算DIがわずかに改善、売上額DI・業況DIがわずかに悪化、資金繰りDIがわずかに悪化した。食料品関連は、採算DIが5期連続で改善し、コスト高に対し、価格転嫁が進んでいる。一方、資金繰りが大幅に悪化し、収支バランスの悪化が見られる。繊維関連は、全DIが改善、一部で受注拡大のための設備投資の動きが見られる。機械・金属関連は、採算DIが悪化、引き続きコスト高の影響を受けている。全業種に共通し、受注の増加から、設備投資の動きがみられる、とのコメントが増えた。

**＜建設業＞　受注増で好調であるも、コロナ融資の返済開始が本格化し、資金繰りが厳しい建設業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **D I** | **５月** | **６月** | **前月比** |
| **売上額** | 6.4 | 10.9 | 4.5 |
| **採算** | ▲ 38.1 | ▲ 35.1 | 3.0 |
| **資金繰り** | ▲ 26.1 | ▲ 31.2 | ▲5.1 |
| **業況** | ▲ 22.8 | ▲ 18.0 | 4.8 |

建設業は、売上額・採算・景況DIが小幅に改善、資金繰りが大幅に悪化した。原材料価格の高騰が続いているが、一般住宅やリフォーム工事を中心に受注が増加しており、業況の改善が続く。一方、他業種と異なり、入金までの期間が長いことから、本格化するコロナ融資の返済が資金繰りを圧迫している。また、一部で設備投資による生産性向上の動きが見られるも、慢性的な人手不足から供給が追い付いていない。

**＜小売業＞　概ね改善傾向を維持するも、業種により影響の異なる小売業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **D I** | **５月** | **６月** | **前月比** |
| **売上額** | 4.2 | 3.4 | ▲0.8 |
| **採算** | ▲ 37.0 | ▲ 34.5 | 2.5 |
| **資金繰り** | ▲ 26.6 | ▲ 25.0 | 1.6 |
| **業況** | ▲ 22.5 | ▲ 20.6 | 1.9 |

小売業は、売上額DIがわずかに悪化し、採算DIが小幅に改善、資金繰り・業況DIがわずかに改善した。衣料品関連は、先月に続き全ＤＩが改善、外出機会の増加が需要の増加につながった。食料品関連は、売上DIが大幅に悪化、物価高による消費者の節約志向により、購買頻度が減少している。耐久消費財関連は、売上DIが大幅改善し、電気代の高騰から、省エネを意識したエアコン関連の需要が伸びている。

**＜サービス業＞　好調を維持するも、人手不足や借入金返済に苦しむサービス業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **D I** | **５月** | **６月** | **前月比** |
| **売上額** | 20.9 | 17.6 | ▲3.3 |
| **採算** | ▲ 17.2 | ▲ 17.4 | ▲0.2 |
| **資金繰り** | ▲ 8.1 | ▲ 11.5 | ▲3.4 |
| **業況** | 2.7 | 1.1 | ▲1.6 |

サービス業は、売上額・資金繰りDIが小幅に悪化し、採算・業況DIはわずかに悪化した。旅館関連は、売上額・資金繰りDIが大幅に悪化、売上は5月のゴールデンウィークの需要増から比較すると悪化したものの、依然として全業種の中で最も高い水準を維持している。一方、人手不足の問題から回転率が鈍いことや、借入金返済負担が重くなってきている。クリーニング関連は、一般客の利用や、イベント再開による需要増により、全DIが改善した。理・美容関連は安定してきている一方で、借入金返済の本格化により、資金繰りDIが大幅に悪化した。

**調 査 概 要**

・調査対象：全国約300商工会の経営指導員

・調査時点：2023年6月末

・調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

※ DI（景気動向指数）は各調査項目について、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。

**産業政策部　産業政策課　担当：宮川、元木　〒100-0006千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F　TEL：03-6268-0085 　MAIL：sangyo@shokokai.or.jp sangyo@shokokai.or.jp sangyo@shokokai.or.jp sangyo@shokokai.or.jp sangyo@shokokai.or.jp sangyo@shokokai.or.jp sangyo@shokokai.or.jp sangyo@shokokai.or.jp sangyo@shokokai.or.jp sangyo@shokokai.or.jp sangyo@shokokai.or.jp**